偏差値を５以上アップさせ、定期テストで100点を取るには

－「授業中」と「授業後」が大切－

開倫塾
塾長　林　明夫

Ｑ：来年の入学試験に備え、今から偏差値を５以上アップさせるにはどうしたらよいですか。２学期の定期テストで100点を取るにはどうしたらよいですか。よい勉強の仕方があったら教えて下さい。

Ａ：(林明夫：以下省略)入試までに偏差値を５アップさせることや、定期テストで 100 点を取ることは、これから私がお話することを確実にやりさえすれば難しくはありません。ただし、「こんなことできっこないや」とあきらめたり、この文章を読むだけで実際にやらなければ、偏差値は今とあまり変わらず、また、定期テストの結果も今までとあまり変わらないことが多いと思われます。要は、やるかやらないかだけです。

Ｑ：どうしたらよいのですか。

Ａ：まず第 1 に、学校や開倫塾の授業は、先生の目をしっかり見つめ、おしゃべりや居眠りをしないで真面目に真剣勝負で受けることです。大切なことは、あとで見やすい形でどんどんノートにメモをすること。計算問題や練習問題は、解答をテキストに書き込まず、必ずノートにやること。計算は、問題も必ずノートに書くこと。このように学校や開倫塾の授業を大切にすることが第 1 です。

　学校や開倫塾の授業を大切にして、勉強すべきこと、身に付けるべきことを、まず「うん、なるほど」とよく「理解」して下さいね。授業はなぜ大切かといえば、テキストに書いてあることや大切なことを「うん、なるほど」とよく「理解」するためです。まずは、十分「理解」する。そのために、真剣に授業を受ける。わかりましたか。

Ｑ：はい。「理解」しただけで、偏差値は５アップしますか。定期テストで100点が取れますか。

Ａ：100 人に 1 人くらいは、授業を受けるだけで偏差値が 5 上がったり、定期テストで 100 点を取れる人がいますが、そのような人は、その日の授業を受けるまでの内容をほぼ完全に「理解」し、また、自分のものとして「身に付けている」ことが多いようです。例外といえます。

　普通の人は、少しはできるようになりますが、授業を受けただけで偏差値が 5 以上アップしたり、定期テストで 100 点が取れることはまずありません。

Ｑ：なぜですか。

Ａ：授業を真剣に受け、授業中に「うん、なるほど」とよく「理解」しても、授業が終わりしばらくすると、悲しいことにほとんど忘れてしまうからです。授業だけ受けて授業後は何もしないのでは、1 ～ 2 か月たって覚えていることはあまりない。これが、現実です。「授業」を受けるだけでは、偏

差値が大幅に上がることもなければ、定期テストで 100 点が取れる人は非常に少ない。そう断言できます。

Q：では、どうしたらよいのですか。

A：ここからが大切なので、よく読んで納得したら、ぜひ今日からでもやって下さいね。学校や開倫塾でその日の授業が終わったらすぐには家に帰らないで、その日の授業で勉強したことを、先生の授業を思い出しながらもう一回そっくりやり直してみること。

（1）テキストやノートを声に出して何回もゆっくり読むこと。声に出してゆっくり読みながら、「ノート整理」もしてしまうこと。大切なことは、声に出してゆっくり読みながら覚えてしまうこと。何も見ないでスラスラ言えるまでにすること。

（2）次に、テキストやノートの中で大切なことは、不要な紙を用意して何回も何回も書き取り練習をすること。英単語、漢字、社会や理科の大切な語句、数学の公式など、テキストやノートにある内容で正確に書けそうもないことは、何も見ないで正確に書けるようになるまで書き取り練習をしてみましょう。地図や教科書に出てくる図なども、スラスラかけるほうがよいのですよ。

　ことばの意味(定義)、つまり「○○とは△△△だ」も正確に書けるようにしましょうね。

（3）テキストに出てくる計算や練習問題で授業中にやった問題は、授業が終わったら、解答を見ずに自分の力でノートにもう一回解いてみる。(テキストに書き込みをして答えが書いてあると、授業後にもう一回やりにくくなります。学校や開倫塾のテキストには、絶対に問題の答えをメモしてはいけません。)

　授業中にやらなかった問題にも挑戦してみる。いくら考えてもできない問題は先生にどんどん質問し、「うん、なるほど」とよく「理解」できたら、自分の力でもう一回「ノート」に解いてみる。

Q：同じ問題は、何回くらい解けばよいのですか。

A：よい質問ですね。偏差値を 1 上げたければ 1 回。2 上げたければ 2 回。3 上げたければ 3 回。4 上げたければ 4 回。5 上げたければ 5 回。学校や開倫塾のテキストに出ている問題を、授業中にそのやり方を「うん、なるほど」とよく「理解」したあとに、5 回、自分の力でノートに解けば、偏差値は 5 上がります。

Q：偏差値を10上げたければ、10回やればよいのですか。

A：その通りです。10 回目をやるころには、問題を見た瞬間に条件反射で解答が出るようになっていると思います。成績のよい人ほど、問題を解くスピードが速い。なぜ速いかといえば、問題を見た瞬間に「パッ」と条件反射で解答が出るからです。

　学校や開倫塾で一度やった問題は 5 ～ 10 回自分の力でノートにやり直し、問題を見た瞬間にパッと解答できるようになっていると、本番の入試や定期テストのときどうなると思いますか。よく知っている問題は何も考えずにスイスイ答えが出ますので、「はじめて出会った問題」つまり「難しい問題」にたっぷり時間をかけることができます。ゆっくり「考える」ことができます。「難しい問題を自分の力で考える時間」つまり「ゆとり」が生まれます。

Ｑ：学校や開倫塾の授業が終わったあと、やることはたくさんあるのですね。

Ａ：学校でも開倫塾でも、「授業」は「うん、なるほど」とよく「理解」するために真剣に臨む。授業が終わったら、忘れないうちに、先生や友達(クラスメート)の表情などを思い出しながら、今私がご説明したようなやり方で、授業の内容をもう一度丁寧にやり直してみる。学校なら教室や図書館(図書室)で、開倫塾なら授業後の空いている教室で、保護者や先生のお許しを得て、自分の力でやれるだけやってみる。すべてやることは難しいかもしれませんが、とりあえずやってみること。このような心掛けが大切であると私は思います。

Ｑ：最後に一言どうぞ。

Ａ：成績を上げるのに大切なことは、３つあります。

（１）「学び方を学ぶ」能力を「身に付けること」。

（２）「読書」に励むこと。学校の教科書で紹介されているような著者の書いた本の中で自分の気に入ったものを探し、ゆっくりゆっくり読むこと。新聞も読書の一種です。新聞を毎日読んで考えること。

（３）何のために勉強するのか、何を勉強するために上の学校に進学するのか、その意味を自分なりに考え十分「自覚」すること。「志(こころざし)」を高く持って勉強し続けること。「志」を持続すること。

　この勉強についての考えは、開倫塾を創業以来29年間、私がずっと考え続けてきたものです。ぜひお試し下さいね。

－ 2008年9月18日記－